

## 2014年度町田市市政モニター 第2回アンケート集計結果

実施期間 2014年10月3日（金）～2014年10月20日（月）  
※期限過ぎに提出されたものも集計しています。

テーマ 1.町田市職員の人材育成について  
2.70歳以上の市民の方にごみ袋を無料配付する事業について  
3.町田市版「事業仕分け」について

アンケート対象 2014年度町田市市政モニター

対象者数 197名

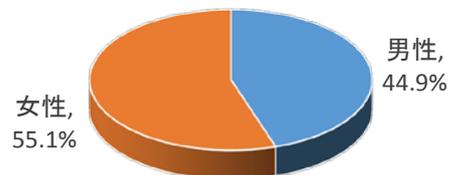
回答者数 167名

回収率 84.8%

### 回答者の属性

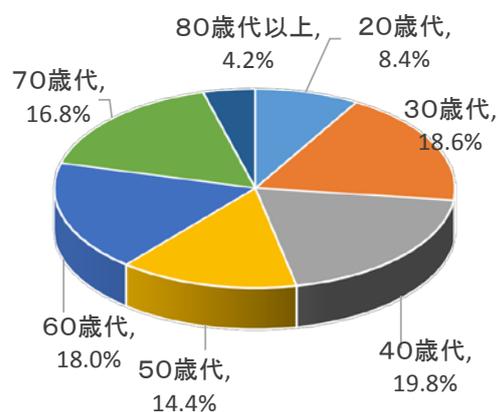
#### (1)性別

性別	人数	%
男性	75	44.9%
女性	92	55.1%
合計	167	-



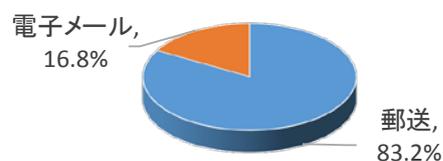
#### (2)年代

年代	人数	%
20歳代	14	8.4%
30歳代	31	18.6%
40歳代	33	19.8%
50歳代	24	14.4%
60歳代	30	18.0%
70歳代	28	16.8%
80歳代以上	7	4.2%
合計	167	-



#### (3)回答方法

回答方法	人数	%
郵送	139	83.2%
電子メール	28	16.8%
合計	167	-



※ 回答が択一または1つのみ選択の場合は「構成比」を、複数選択の場合は「回答比」を表示します。

※ 自由記述部分は、ご本人の意を尊重し、文体・表現はそのままいたしました。

※ 割合の表示は、小数点以下2位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

# 1. 町田市職員の人材育成について

町田市では、2007年に「町田市職員人材育成基本方針（以下「方針」という。）」を策定し、2010年度に改訂を行いました。

この方針では、求められる職員像として次の5つの志向を掲げ、職員の人材育成について様々な取組を進めています。

[ 求められる職員像 ]

～市民の気持ちができる・同僚の気持ちができる～

E町田(良い、まちだ！を創造し続ける職員)

安心(EASE)・活力(ENERGY)・楽しい(ENJOY)

[市民志向] …市民の立場で考え、地域とのつながりを大切に、市民から信頼される職員

[経営志向] …時代の変化を敏感に捉え、常に改革、改善に向けた経営感覚を備えた職員

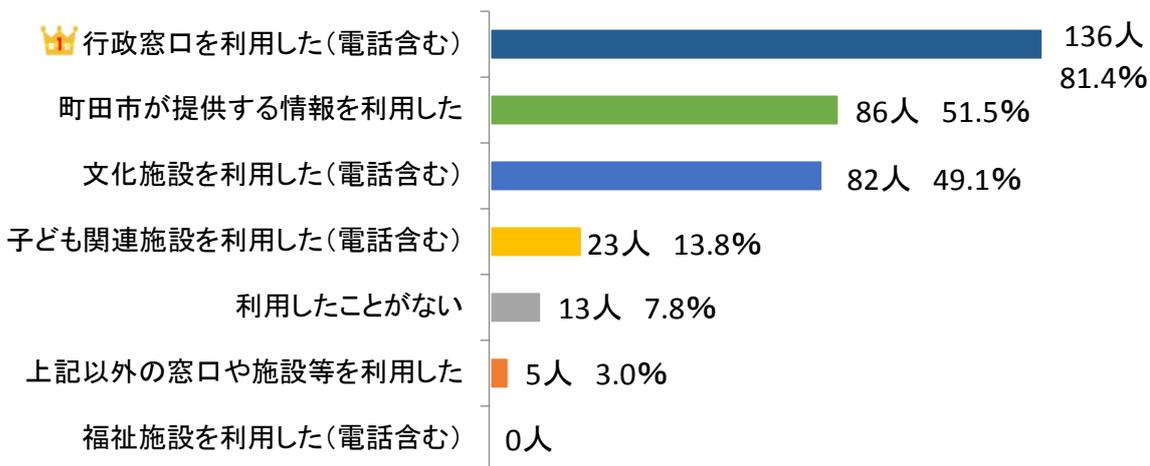
[チームワーク志向] …お互いを尊重し、協力し合い、組織で仕事ができる職員

[チャレンジ志向] …知識、技術、専門能力を自ら習得し、新たな課題に積極的に挑戦する職員

[信頼獲得志向] ……全体の奉仕者として高い倫理観を持ち、公平・公正に職務を行う職員

今回のアンケートは、市民の皆様が町田市の窓口をご利用になったり、広報等から発信される情報を見て、町田市職員にどのような印象を持たれたかをお伺いするものです。いただいたご意見は、職員の能力向上につなげるための基礎資料とさせていただきます。

Q1 最近1年以内に町田市の窓口や施設、町田市が提供する情報等をご利用されましたか。（複数回答可）

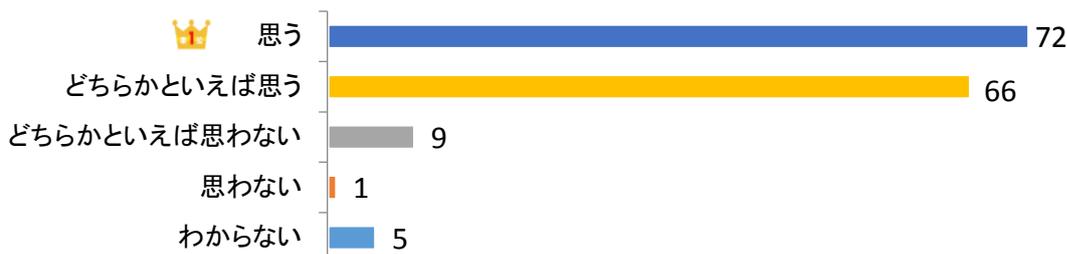


… 全体の約8割の方が、「行政窓口を利用した」と答えています。

【上記以外の窓口を利用した】

町田市民病院、町田市民ホール、町田市わくわくプラザ  
 ダリア園、ニーズセンター花の家、公民館  
 鶴川駅前図書館、ころころ児童館、市民ホール、サン町田旭体育館

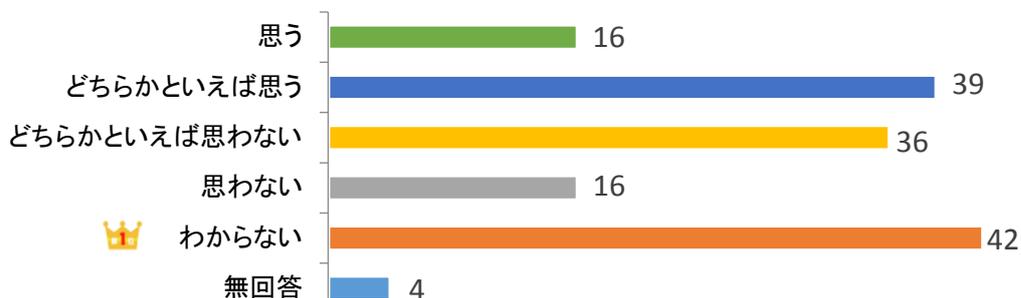
Q2 Q1で「～を利用した」を選択された方にお聞きします。  
 あなたが町田市の窓口や電話を利用した際に対応した職員は、話しをよく聴き、丁寧な対応を心がけていると思いませんか。  
 (1つだけお選びください)



※Q1で「～を利用した」を選択された方(153名)の構成です。

... 「思う」「どちらかといえば思う」と答えた方が多くいました。

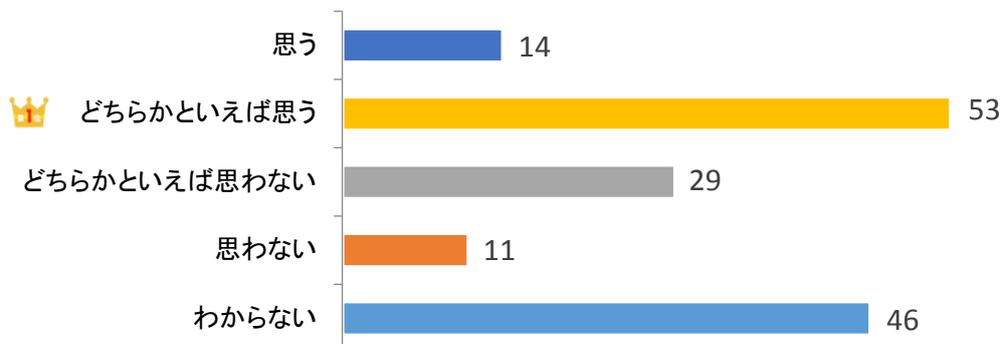
Q3 Q1で「～を利用した」を選択された方にお聞きします。  
 職員は、町田市の特色や魅力を、市民に上手に伝えていると思いませんか。(1つだけお選びください)



※Q1で「～を利用した」を選択された方(153名)の構成です。

... 「思う」「どちらかといえば思う」の合計と「思わない」「どちらかといえば思わない」の合計が、ほぼ同じでした。

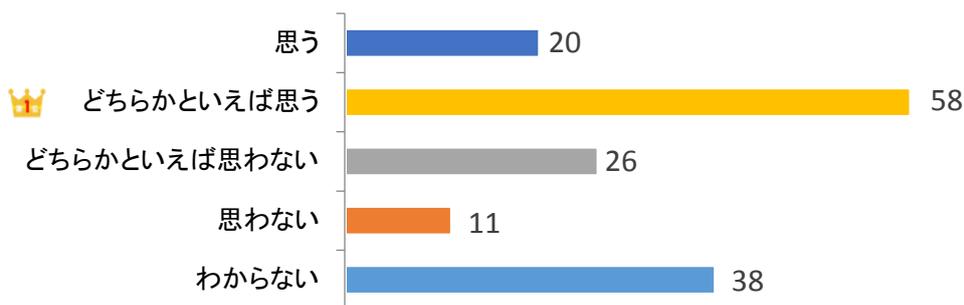
Q4 Q1で「～を利用した」を選択された方にお聞きします。  
 町田市では社会や環境の変化に対応した取組をし、また、職員には改善の意識があると思いませんか。(1つだけお選びください)



※Q1で「～を利用した」を選択された方(153名)の構成です。

... 「どちらかといえば思う」「わからない」と答えた方が多くいました。

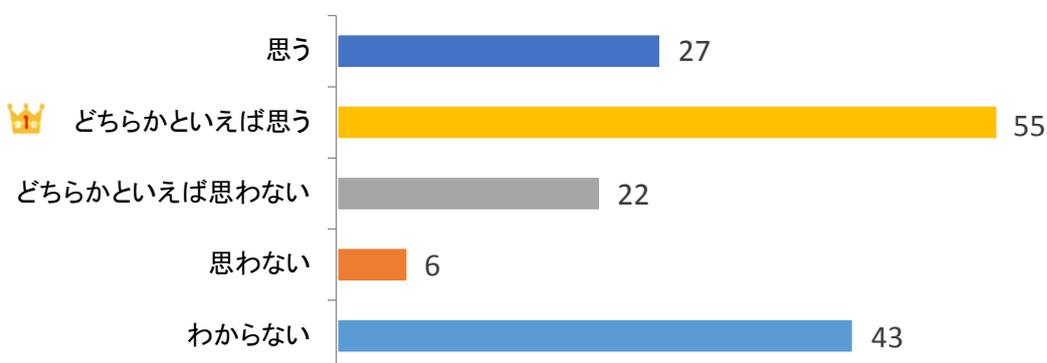
Q5 Q1で「～を利用した」を選択された方にお聞きします。  
 職員は、仕事を行う上で、コスト意識を持ち、迅速で的確な対応ができていると思いますか。（1つだけお選びください）



※Q1で「～を利用した」を選択された方(153名)の構成です。

💬 「どちらかといえば思う」と答えた方が多くいました。

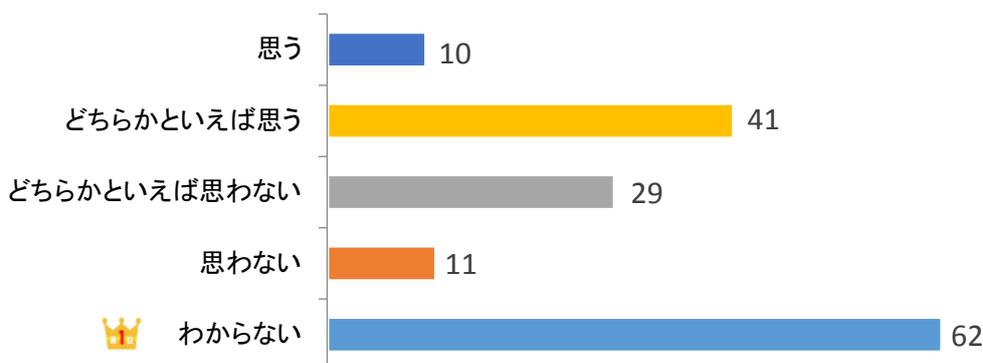
Q6 Q1で「～を利用した」を選択された方にお聞きします。  
 職員は、市民への対応について職場内で連携を取り、業務に取り組んでいると思いますか。（1つだけお選びください）



※Q1で「～を利用した」を選択された方(153名)の構成です。

💬 「どちらかといえば思う」と答えた方が多くいました。

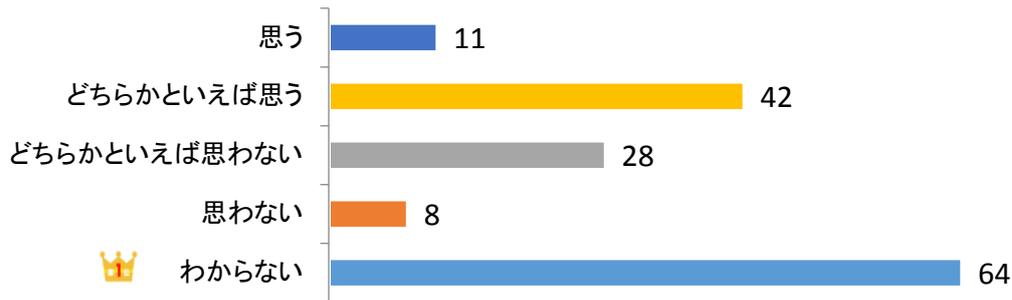
Q7 Q1で「～を利用した」を選択された方にお聞きします。  
 職員は、町田市政の課題や問題について、改善や解決に向けて働きかけを行っていると思いますか。（1つだけお選びください）



※Q1で「～を利用した」を選択された方(153名)の構成です。

💬 「わからない」と答えた方が多くいました。

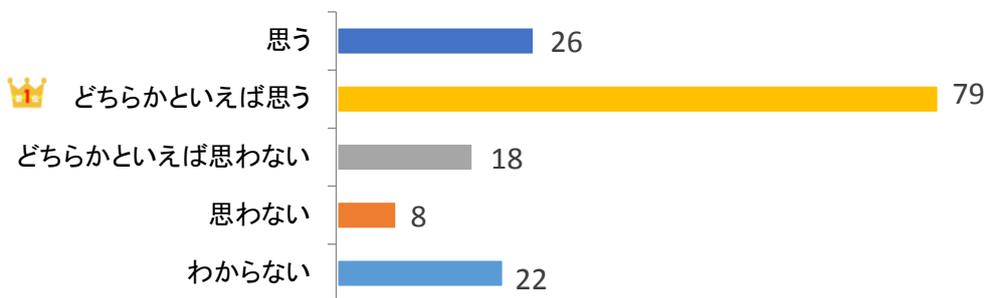
Q8 Q1で「～を利用した」を選択された方にお聞きします。  
職員は、市民からのご意見・ご提案をよく聴き、業務に活用していると思いますか。（1つだけお選びください）



※Q1で「～を利用した」を選択された方(153名)の構成です。

💬 「わからない」と答えた方が多くいました。

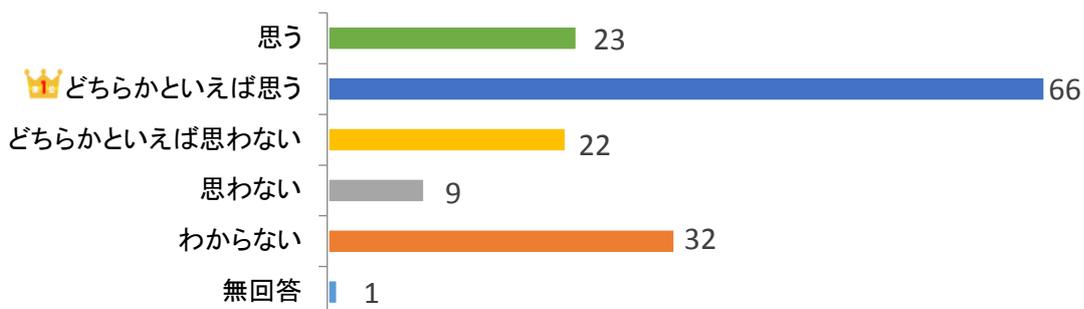
Q9 Q1で「～を利用した」を選択された方にお聞きします。  
職員は、市民に対して分かりやすい説明を行い、十分な情報を提供していると思いますか。（1つだけお選びください）



※Q1で「～を利用した」を選択された方(153名)の構成です。

💬 「どちらかといえば思う」と答えた方が多くいました。

Q10 Q1で「～を利用した」を選択された方にお聞きします。  
あなたが接した職員は、市民に奉仕する者としての高い倫理観を持ち、公平・公正に職務を行っていると思いませんか。（1つだけお選びください）



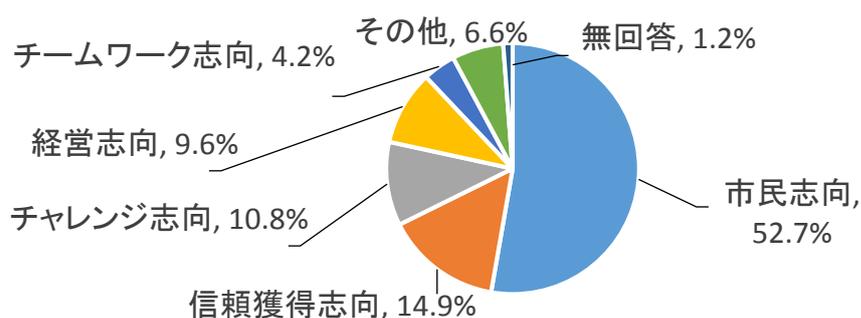
※Q1で「～を利用した」を選択された方(153名)の構成です。

💬 「どちらかといえば思う」と答えた方が多くいました。

Q11 全ての方にお聞きします。

求められる職員像を実現するために次の志向の中で最も重要だと思うものはどれですか。（1つだけお選びください）  
また、選択肢以外で重要と思われる志向がある場合、お書きください。

	回答内容	回答者数	構成比
👑	市民志向	88	52.7%
	信頼獲得志向	25	14.9%
	チャレンジ志向	18	10.8%
	経営志向	16	9.6%
	チームワーク志向	7	4.2%
	その他	11	6.6%
	無回答	2	1.2%



… 「市民志向」と答えた方が全体の5割以上でした。

【その他の内容（抜粋）】

- 町田市の将来ビジョンを明確に持ち、それに向かって真摯に努力する職員。
- 市の職員なので、全てが重要だと思います。
- 全て当てはまると理想ですが、複数回答でも良いと思います。
- 世の中（社会）を知った職員。
- 思いやり。
- 現場に実際に行く。市民の声を聴く。ひざをつき合わせて会話する。机の上だけで解決しない。
- 民間並みのマナー、接客態度がまず必要。
- コスト意識とサービス精神。



このたびは、「町田市職員の人材育成について」のアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

町田市では、人材育成を推進するため、2007年3月に「町田市職員人材育成基本方針（第1期）」を策定しました。その後、2010年3月に改訂した基本方針（第2期）は、2014年度末で5年間の取組期間を終了します。そこで、2015年度から新たに取組む「町田市職員人材育成基本方針（第3期）」を策定する必要があり、その策定プロセスのひとつとして今回のアンケートにより市民の皆様の町田市職員に対する印象をお伺いしたところです。

今までの方針で、職員を対象とした意識調査は行っていましたが、市民の皆様に調査を行ったのは今回が初めてです。

今回のアンケートで、窓口等で対応した町田市職員に対する印象は良いものの、町田市の魅力等の発信が十分ではないと感じていたり、様々な施策に対する積極的な働きかけがうまくされていないと感じていることが伺え、市民の皆様の印象から見た職員の改善点等を把握することができました。

また、市民の求める職員像の重要度を計ることができ、この結果を踏まえ方針の中で職員を育成していく上の優先事項に反映することができました。

この2月に町田市職員の人材育成を推進するための新たな方針である、「自分づくりの虹色サプリメント～町田市職員人材育成基本方針～（第3期）」を策定しました。「市民志向」「信頼獲得志向」「チャレンジ志向」「経営志向」「チームワーク志向」の5つの志向を持って「市民の気持ちができる・同僚の気持ちができる いいことふくらむ”まちだ”を創造し続ける職員」を町田市のめざす職員像として、市民の皆様から信頼される人材を育成していくため、より一層努力をし続けてまいりたいと思います。

## 2. 70歳以上の市民の方にごみ袋を無料配付する事業について

町田市では、2007年度から70歳以上の市民の方を対象に、1年に1回1人あたり1,200リットル分のごみ袋を無料で配付する事業（以下、高齢者ごみ袋無料配付事業）を行っています。この事業は、医療費の負担割合の増加や老年者控除の廃止による、高齢者の経済的負担を軽減するため実施しています。

高齢者ごみ袋無料配付事業では、対象者1人あたりに約2,260円の費用が必要となります。事業開始当初の2007年度時、対象者数は約5万1千人でしたが、年々その数が増加し、2014年度には7万3千人となりました。町田市人口推計では、2020年の70歳以上人口は、約8万5千人となり、町田市全人口の約20%を占める見込みとなっています。

現在、このような現状を踏まえて、事業内容の見直しを検討しております。本事業に関して、モニターの皆様のご意見をお伺いし、今後の事業展開に活かしていきたいと考えております。

### <2014年度高齢者ごみ袋無料配付事業の概要>

#### □1人あたりの事業費

##### 燃やせるごみ袋

- ・小袋(10リットル):20枚
- ・中袋(20リットル):40枚

##### 燃やせないごみ袋

- ・中袋(20リットル):10枚

計70枚(1,200リットル分) 1,920円

配付費用等 約340円

計 約2,260円

#### □事業規模

約2,260円×7万3千人分

合計 約164,980,000円

### <2020年度高齢者ごみ袋無料配付事業の予想> ※2014年度と同様に実施した場合

#### □事業規模

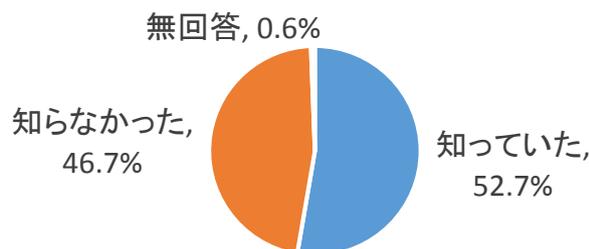
約2,260円×8万5千人分

合計 約192,100,000円

### <2014年度と2020年度の事業規模の比較> 約27,120,000円増

Q12 あなたは、高齢者ごみ袋無料配付事業をご存知でしたか？

	回答内容	回答者数	構成比
👑	知っていた	88	52.7%
	知らなかった	78	46.7%
	無回答	1	0.6%



「知っていた」と答えた方が半数以上いました。

Q13 Q12で「知っていた」を選択された方にお聞きします。  
 どのようにして高齢者ごみ袋無料配付事業を知りましたか？  
 (1つだけお選びください)

回答内容	回答者数	構成比※
👑 自分や家族が受け取っている	65	73.9%
知人から聞いて	11	12.5%
広報等の市の情報を見て	7	8.0%
その他	3	3.4%
無回答	2	2.3%

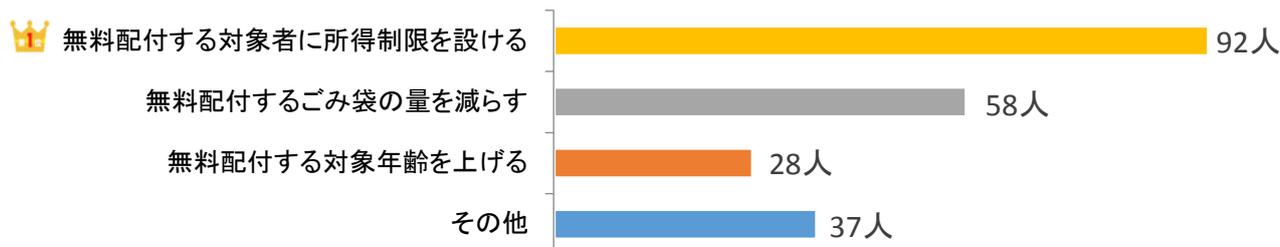
※Q12で「知っていた」と答えた方(88名)の構成比です。

💬 「知っている」と答えた方の7割以上が「自分や家族が受け取っている」を選びました。

【その他の内容】

- 過去に家族が受け取っていた。
- 隣人の老人に使い切れないからともらった。
- 近所の方から聞いて。

Q14 全ての方にお聞きします。  
 高齢者ごみ袋無料配付事業の費用を縮小する方向で見直す場合、どのように検討すべきだと思いますか？(複数回答可)



💬 「無料配付する対象者に所得制限を設ける」と答えた方が多くいました。

【その他の内容】(抜粋)

▽配付の継続など

- 縮小する必要なし。
- 82才になり買い物も大変になり有料になっても配付をお願いしたいと思います。
- ゴミを廃棄するのが有料になったということは、増税したのと同じこと。ごみ袋の価格をもっと安価にするべきだし、所得の低い市民には70歳以上でなくても、無料で配付するべきだ。
- この項目だけとらえて判断するのもどうか。金額の大きい支出項目などの見直しが先決だと思います。ごみ袋指定有料化の一部還元だと思っていた。

#### ▽配付の中止など

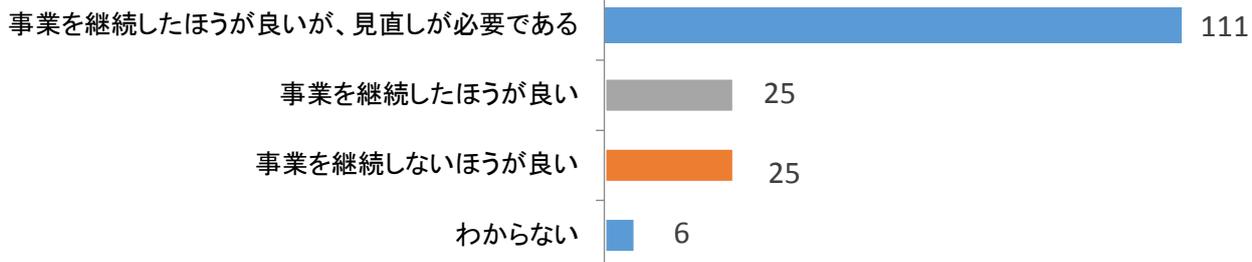
- 収入がない高齢者だからといって無料配付することが誤り。  
高齢者だから故にゴミ自体の量が少ないわけではないならやめるべきだ。
- 施設入居の方には、必要のない事業だと思います。
- まず、平均一般世帯の実態調査。無料だと誰でもムダ遣いする。  
他のサポートを考えた方がよい。貧しい人の方が本来少ないはず。  
廃止した方がよい。

#### ▽見直しなど

- 対象者が2名以上については、1家庭に1つとする。
- 1人暮らしが確認できた場合のみとする。かつ、生活保護支給者は対象外が望ましい。
- 対象者1人の場合は従来通り。  
対象者2人以上の場合は、2, 260×2×0.7。
- ごみ袋以外の他のものを提供する。
- 高齢者は、指定ゴミ袋以外もOKにする。費用を、高齢者を対象にした別のサービスにまわす。
- 無料配付を希望する方のみ配付しては良いのでは。
- 身体障害者手帳の有無を条件に加える。
- 配付費用等1件当たり340円を削減するための個別配付を止め、集会所等  
を利用し期間を決め取りに来てもらう。集会所等にシルバー人材センターより  
2名位派遣してもらい、事務作業を行う。高齢化が進み益々対象者が増えて行く  
ので、予算を決めその範囲内で行う。
- 1人あたりのゴミの量は、小袋(10ℓ)位だと思うので、小袋の方を多くして  
中袋の量を減らす。
- 対象年齢を75才以上にあげるべきと考えます。
- 対象年齢を上げるのとセットで、認知症のお年寄りなど要介護(重度)プラス  
する。現在は高齢者社会、健康で生活できる家庭にまで、この様な事をやって  
いては、市のお金がどんどん赤字になるのではないか……。本当に必要な  
高齢者家庭を、よく調査して配付する必要あり。  
なんでもお金を出すのは考えたほうが良い。

Q15 高齢者ごみ袋無料配付事業を継続することについて、どのように思いますか？

(1つだけお選びください)



「事業を継続したほうが良いが、見直しが必要である」と答えた方が、多くいました。

このたびは、「70歳以上の市民の方にごみ袋を無料配付する事業について」のアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

今回のアンケート結果においては、6割以上の方々が本事業について「事業を継続したほうが良いが、見直しが必要である」との認識であることを知ることができました。本事業は、2007年度から開始し、7年が経過しております。事業開始当初と比べると社会において様々な変化が生じております。今後、皆様からいただいたご意見・ご提案を参考にさせていただき、適切な事業運営を行えるよう取り組んでまいります。

### 3. 町田市版「事業仕分け」について

町田市では、市民サービスの向上や効率的な行政運営の実現に向け、過去3回にわたり「事業仕分け」を実施してきました。

「事業仕分け」とは、公共事業の必要性ややり方を公開の場で議論し、外部の視点を取り入れることで、硬直化した国や自治体の事業を再構築するための手法です。2009年に国が実施したのをきっかけに、広く知られるようになりました。

町田市は定期的に「事業仕分け」を実施していくことで、事業の透明性を確保し、行政経営改革を継続的に推進する組織作りを目指しています。

しかし、対象事業の選び方、議論の進め方、結果の活用の仕方など「事業仕分け」の方法や効果についてはさまざまな課題があります。

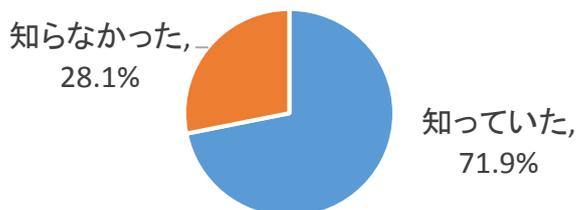
そこで以下の設問では「町田市版事業仕分け」をより良い方法で行うために、モニターの皆さんのご意見をうかがいます。

※参考として、2013年度の町田市版事業仕分けの資料（抜粋）を添付します。

Q16 あなたは国や自治体で行っている「事業仕分け」を知っていましたか。

（1つだけお選びください）

回答内容	回答者数	構成比
👑 知っていた	120	71.9%
知らなかった	47	28.1%



全体の7割の方が「事業仕分け」を知っていると答えています。

Q17 Q16で「知っていた」を選択された方にお聞きします。

「事業仕分け」に対し、どのような印象を持っていますか。あなたの考えに近いものを、それぞれ1つずつ選択してください。

行政の仕事の中身がわかる



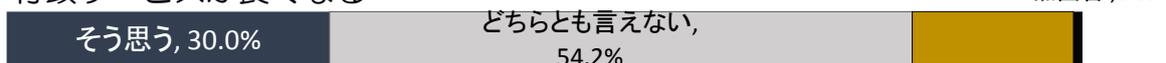
行政への関心が高まる



行政職員の意識改革になる



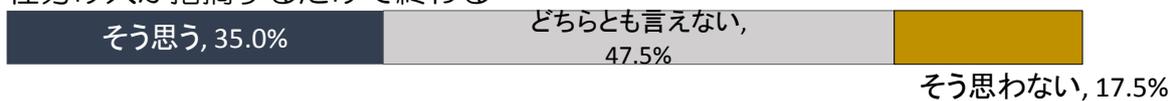
行政サービスが良くなる



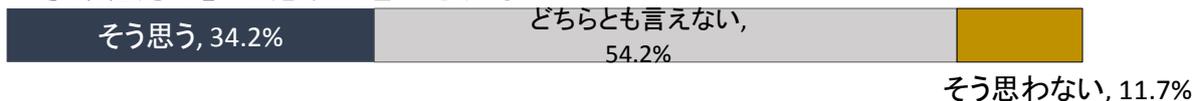
行政の無駄が明らかになる



仕分け人が指摘するだけで終わる



「事業仕分け」の結果が活かされない



事業仕分けについて、「行政への関心が高まる」「行政職員の意識改革になる」「行政の無駄が明らかになる」という印象をお持ちの方が多くようです。「行政サービスが良くなる」「『事業仕分け』の結果が活かされない」という質問には、「どちらとも言えない」と答えた方が半数以上いらっしゃいました。

Q18 全ての方にお聞きします。

町田市が過去に「事業仕分け」を実施したことを知っていましたか。

(2008年度、2011年度及び2013年度に実施)

回答内容	回答者数	構成比
知っていた	18	10.8%
👑 知らなかった	148	88.6%
無回答	1	0.6%



ほぼ9割の方が、町田市の事業仕分けを「知らなかった」と答えています。

Q19 Q18で「知っていた」を選択された方にお聞きします。

町田市が「事業仕分け」を行ったことは、何で知りましたか。

(複数回答可)

回答内容	回答者数	回答比※
👑 広報まちだ	16	88.9%
町田市ホームページ	3	16.7%
知人から聞いて	1	5.6%
インターネット (町田市ホームページを除く)	0	0.0%
新聞	0	0.0%
その他	1	5.6%

※Q3で「知っていた」と答えた方(18名)の回答比です。



町田市の事業仕分けを「広報まちだ」で知った方が、全体の約9割でした。

【その他の内容】(抜粋)

- 事業仕分けを受けた職員から聞きました。

Q20 全ての方にお聞きます。

町田市が実施する「事業仕分け」について、どんな「事業仕分け」であれば傍聴してみたいと思いますか。あなたの考えに近いものを、それぞれ1つずつ選択してください。

事業の成果やコストについて分りやすく説明してくれる



市民自らが選定した事業で議論が行われる



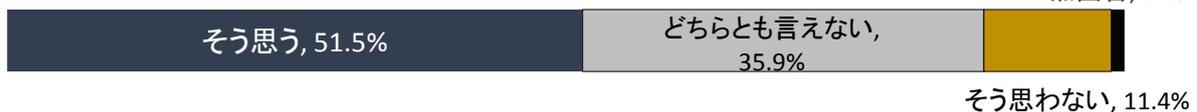
仕分けに市民が参加し、市民の感覚をもとに議論が行われる



学識経験者だけで事業が評価され、専門的な議論が行われる



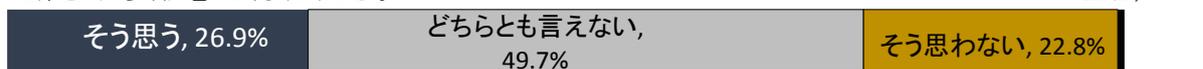
仕分けの傍聴者も仕分けの評価に参加できる



仕分け人と職員が、対話により事業課題を共有し、改善につなげるための方策を共に考える形態で行われる



職員の説明に対し、仕分け人が事業の「要」・「不要」の判断を下す形態で行われる。



「事業の成果やコストについて分りやすく説明してくれる」と答えた方が、一番多かったです。

【選択肢以外で傍聴してみたい「事業仕分け」】（抜粋）

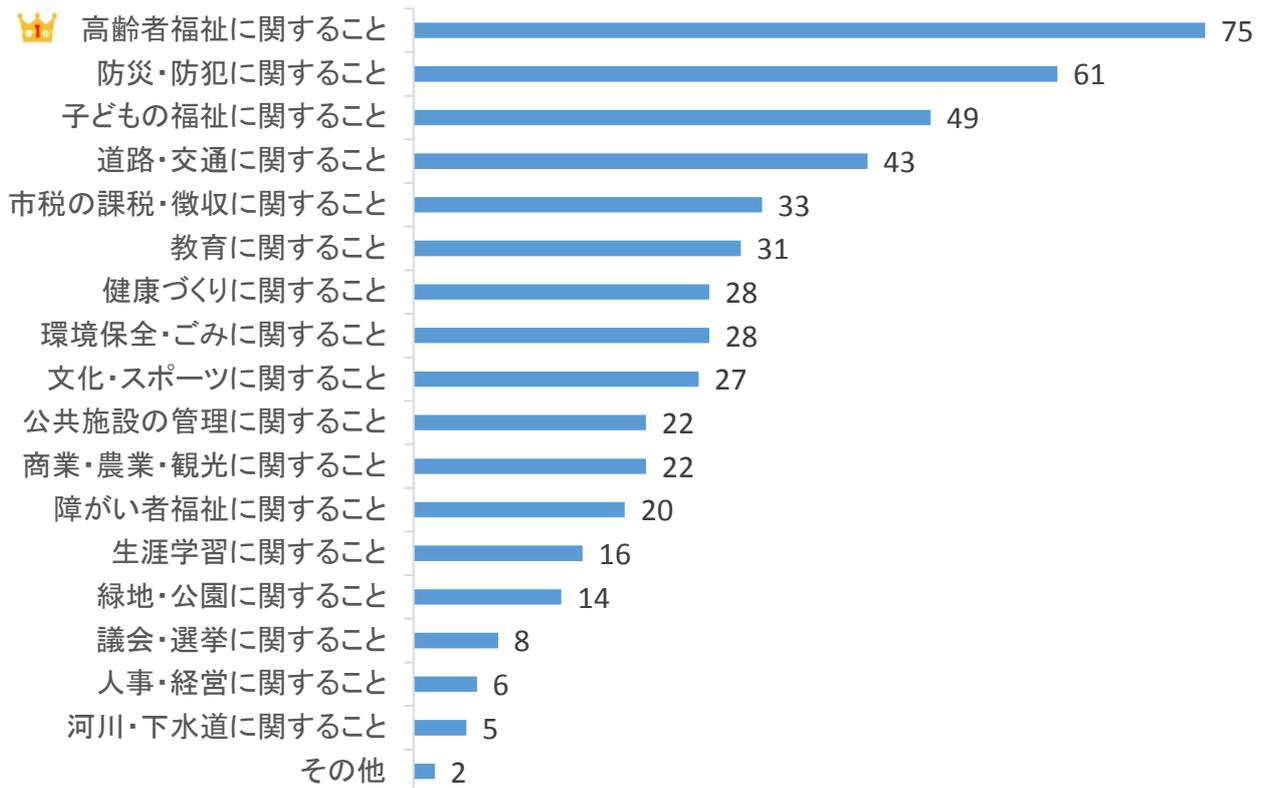
▽傍聴してみたいもの

- 相原駅付近のロータリー工事が長い。
- 職員の手当て。
- 教育に関するもの。
- 特にこれといったものは無いが、事業仕分け全てに対して傍聴したい。
- 中学生や高校生が参加する仕分けがあれば、傍聴してみたい。
- イベント類について要、不要を費用対効果で検討する事業仕分けが良い。
- 教育、母子家庭への補助。
- 中学・高校生も参加できる形態を考慮して欲しい。
- 入札。
- 議員に対する予算について。
- その事業を行う理由、目標、理念が事業担当から聴くことができること。また、事業仕分けは全ての分野で行われること。できるならブースで事業ごとが説明を行うのがよいだろう。
- 町田市のホームページを拝見しますと、町田市の財政はかなり悪化していると思います。その財政を悪化した理由を明らかにし、何にお金がかかったことで財政が悪化したのか、そしてそれに対してどういった政策をして、どれだけの財源をつかったのかわかるものがあれば傍聴してみたいです。それぞれの根拠となるもの市民として知りたいです。
- 長期のプロジェクトについて、あるいは過去から継続している事業についての評価。

▽その他

- 職員の仕事ぶり（スピード、効率、正確さ、柔軟さ）を見学→意見したい。とにかく民間の人材より仕事能力が低いというイメージです。公務員ならではの向上心のなさ、安定にかまけた仕事ぶりを改善しなければ。
- 「事業仕分け実施計画」の検討といった機会があればよいと思う。市長が就任されたような時に、4年間に実施する計画を検討してみたらよいと考える。
- 予算額の大きい介護福祉関係を傍聴したい。
- 素人が余り出過ぎず、専門職に任せるべき。職員は、学識経験者などの話を参考に、常に勉強すべき。
- 学識経験者、市民が公共政策の在り方とコストをよく理解し仕分けできるののだろうか。現時点では優秀な職員の皆さんの市民本位の熱心な議論と政策に期待したい。効率、成果の基準がよくわからない。

Q21 町田市が行っている事業で特に関心があるのは、どんな分野ですか。以下の中から上位3つまで選択してください。



「高齢者福祉に関すること」「防災・防犯に関すること」と答えた方が多くいました。

Q22 「事業仕分け」では、どのような基準で対象となる事業を選定したらよいと思いますか。（1つだけお選びください）

回答内容	回答者数	構成比
👑 サービスが特定の受益者に偏っている可能性がある事業	48	28.7%
事業開始年度が古く、長期間実施している事業	39	23.4%
市民からは見えにくい内部管理的な事業	33	19.8%
予算額の大きい事業	32	19.2%
市が独自に実施している単独事業	9	5.4%
その他	4	2.4%
無回答	2	1.2%

「サービスが特定の受益者に偏っている可能性がある事業」「事業開始年度が古く、長期間実施している事業」を選定したい方が多いようです。

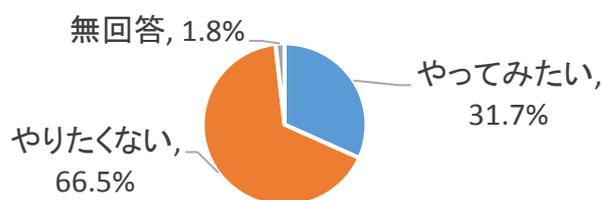
【 2015年度の事業仕分けについて（予定） 】

2015年度は、『市民の皆さんが市政に関心を持てる仕組みの構築』を目的に、事業の課題や今後の改善に向けた方策について、市民の方を交えた事業評価チームと市の職員が、共に考える「対話型」の外部評価を実施する予定です。

Q23 町田市の「事業仕分け」は、市民感覚をより重視したものにするため、「仕分け人」として市民の方にも、参加してもらうことを予定しています。

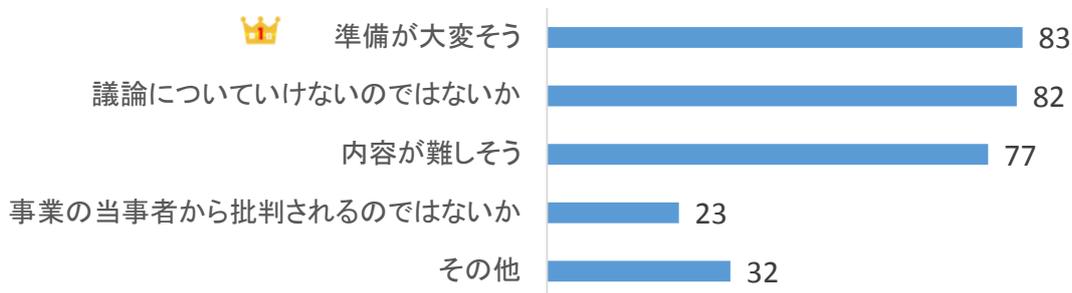
あなたは、2015年度に実施予定の「町田市版事業仕分け」で、「仕分け人」をやってみたいと思いますか。（1つだけお選びください）

回答内容	回答者数	構成比
やってみたい	53	31.7%
やりたくない	111	66.5%
無回答	3	1.8%



「やりたくない」と答えた方が全体の6割以上でした。

Q24 あなたが「仕分け人」をつとめた場合、不安に思うことはどんなことですか。当てはまるもの全てに○印をご記入ください。（複数回答可）



「準備が大変そう」「議論についていけないのではないか」という回答が多くありました。

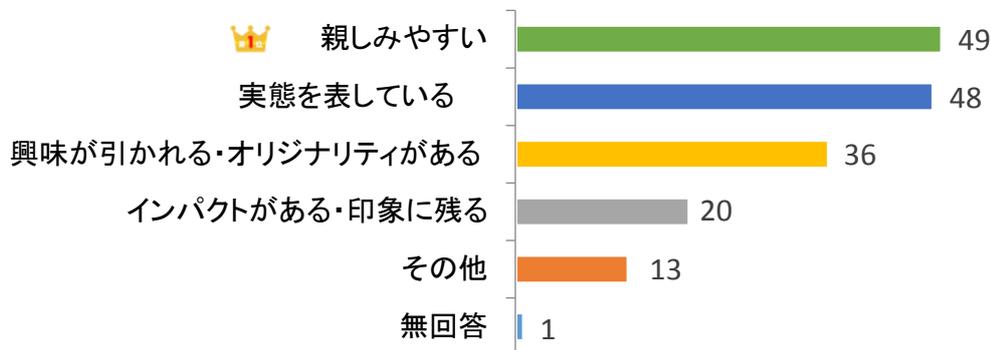
【その他の内容】（抜粋）

- 仕事、子供の生活に支障が出ること。
- 資料に目を通したり、会議に参加するのに時間がかかる。
- 多数の事業の中から何が問題か、市の立場で市民に提起、市民は市民目線でどの様にチェックすれば良いのか、五里霧中状態である。
- どこまで、正確な情報を開示してもらえるのか。偏った情報での議論が怖い。
- 議論がイタチごっこになりそうで、前向きな感じで進んで行かなそうな感じがします。
- 高齢のため、体力・気力も衰え、長時間の緊張に耐える自信がありません。
- 知識不足から余計な時間をかけさせてしまったたり、ムダな足かせにならないかという不安。
- 改善されると思わないから。
- 事業仕分け事体があまりよくわからないので仕分け人になる前に まずは市民として傍聴したい。
- 若い人に積極的にやって頂けたら良いと思う。

Q25 町田市では「事業仕分け」の名称の変更を検討しています。2015年度の事業仕分けの名称を「（仮称）2015年度町田市市民参加型事業レビュー」と改めています。呼称（ネーミング）についてのアイデアや考え方をお聞かせください。

A. 呼称（ネーミング）から受ける印象として期待するものは何ですか。

（1つだけお選びください）



「親しみやすい」「実態を表している」という回答が、多くありました。

【その他の内容】（抜粋）

- 「仮称」では業務の内容が理解できないような気がします。むしろ「市民参加事業仕分け」の方が事業の内容が理解できるのでは…。
- 仮称に「仕分け」の文言を入れると分かり易いと思いますが。
- 私たちの町 町田！ 市民参加型事業会議。
- ネーミングよりも、適切な対象事業を選定し、もっと頻度高く実施することが重要。
- 事業仕分けで良い。ネーミングではなく、どこまで実質的な結果が出せるかが重要。
- 見直しは今！ 未来に安心感を！
- 大人も子供もわかりやすく興味をもつような。
- 分かりやすく、実態も表している。
- レビューのカタカナ部分を日本語に改めた方が内容がはっきりすると思います。
- 簡単で、分かりやすい表現。町田市民による、市民のための町田版政治。市の運営改革。「仕分け」という表現が、何をやるものなのか、ピンとこない。
- 町田市を良くしよう。
- 変更しても何も変わらない気がする。
- 誠意。

B. あなたなら、町田市版「事業仕分け」にどのような呼称（ネーミング）をつけますか。呼称案がございましたら、お書きください。

【呼称案】

- 市民の目でチェック・私達の町田 / check my town
- 町田の未来を考える～事業・運営の場～
- our lives, our town. Lets talk again! (レッツ・トーク・アゲイン)
- 町田市スマート事業仕分け
- 町田スリム化会議
- 必殺仕訳人 町田 part 4
- ○○市民参加事業○○
- 逆にネーミングしないほうが良いと思う。軽々しく感じてしまう
- 市民DE仕分け
- なじみのある「チェック」の文言を盛り込む 事業チェック査定会議
- 私たちの町だ!!! みんなの町田!!!
- 作戦会議IN町田
- 大切な税金を取り戻せ!
- 見直そう私のまちの税金を
- 市政!! 町田風レシピ
- 子ども～お年寄りにもわかる様 本当に簡単に「かわせみミーティング」
- 2015年度の上記仮称に加えて親しみやすいサブタイトルを追加してはどうか?
- “仕・分・け・ま・ち・だ”
- ソートワーキング
- 私が主役のまちっこ会議☆
- 町田市の経営、事業診断及び改革
- みんなで事業仕分け
- 事業見直し
- マチ参会
- みんなで見直す町田の行政

Q26 「事業仕分け」に関するご意見・ご提案等がございましたら、お書きください。

【ご意見・ご提案】（抜粋）

▽提案など

- 短期的な視野でなく、長いスパンで考えること。事業の内容によって目に見えるコストだけでなく隠れた効用も正しく把握した方がよいと思います。
- カット、廃止というイメージがある。効率、成果の評価基準がよくわからない。新規、既存の政策展開の中で発展、吸収しながら解決する方策はないものか。
- 仕分け事業ごとに事業内容に関心の有る様々な立場（技術者、経済関係者、主婦そして、若年齢者・中年年齢者から高年齢者まで幅広く）の市民を募って仕分けを行う様な方策が良いのではないかと思います。
- 仕分けというコンセプトはよいが、対象を絞ってしまっただけでは意味がない。年度の報告会もかねて全ての事業で実施すべきである。
- ネットで多くの人に投票してもらおう。要か不要かで選択する。
- 提出される資料について、正確性と中立性を担保する仕組み。例えば、作成部署や作成者の署名、当事者以外による確認者の署名。偏った情報を元にした議論は無駄（茶番）。事前の手間を惜しまないで欲しい。
- 成果が数年経って見ないと分からない事業もあるはず。数字だけで仕分けず、中身・内容を考慮し、分けていただきたい。
- 町田市在住の著名人・文化人に参加していただき、話題性を高めてほしい。
- 市民へのサービスレベルが低下してでも、不採算であったり有用でない事業は事業仕分けとして、討論していただきたい。
- 事業仕分けに取り上げた事業については、短期間で改革に結びつけることが肝要。

#### ▽周知方法・情報提供についてなど

- 過去の事業仕分けの議題と仕分け人の判決、行政側の意見、事業当事者の意見、そしてそれらの結論、結果などの過程が知りたいです。それにより効果があったのかどうかというデータを知らずに意見はできないと思います。
- 事業仕分けをもっと大々的にアピールした方がよいと思います。特に開催前に知らない人、興味のない人にアピールすべきです。そして事後報告を開催前のアピール以上にきちんとして一部のひとだけでなく、市民全員に知らせることは必要だと思います。
- コストに関する説明をより市民にわかりやすく行って欲しい。コストの根拠が一番わかりにくい。
- 事業仕分けの議題に関して、多くの方から意見をつのった方が、色々な発見があると思います。広報まちだ等に募集を掲載すると良いと思います。
- 事業仕分けの結果を、そのプロセスも含め簡略な解説したものがあれば、その場に参加できなくても身近なものになると思う。
- 町田市が「事業仕分け」が行われていることは全く知りませんでした。その過程や結果等はどこで知ることができるのかわからないので、もっとアピールすべきだと思います。
- 解りやすい表現で言ってほしい。英語、カタカナ言葉、専門用語など使わず誰でも解かるような言葉で。

#### ▽その他

- 適切な行政が行われていれば不要と思います。
- 効率的に税金を使って、メリハリのある市政をしていただきたい。
- 仕分けされた事業が、本当に見直され、実行されるものでなければ、意味がないと考えます。
- ムダを省くのは重要だと思うが、それにより困る事や人ができるのは避けてほしい。
- 政権が変わっても事業仕分けが継続される事を望みます。
- 事業仕分けの様子は、誰でも見学できるようにして欲しい。
- 市民参加型がうまく機能して、継続する事を期待したい。
- 小学生・中学生・高校生にも関心をもってもらいたいと思います。事業仕分けを観覧できたり、参加したりすることにより、事業仕分け、市政、さらに政治などに興味を持っていけるのではないかと思います。
- 仕分けの内容を考えると、「仕分け」という言葉（ネーミング）自体が不適切だと思います。仕分けることよりも、その後や展望の方が大事です。
- 事業仕分けを開催するにあたって、出る費用が多いなら無駄なのでやらない方がよい。
- まず「事業仕分け」の実態を知りたいと思います。その上で概念的に理解を深め、私の専門知識が（あるいは経験が）活かせる分野で、意味を述べる機会が与えられれば、素晴らしいと思います。



「町田市版『事業仕分け』について」のアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

今回のアンケートで、町田市が過去3回（2008年度、2011年度及び2013年度）に「町田市版事業仕分け」を実施したことをご存じない方が多いことを再認識いたしました。2015年度に名称を改め「市民参加型事業評価」として実施する際は、多くの方にお越しいただけるよう周知方法を見直してまいります。

また、「どんな『事業仕分け』であれば傍聴してみたいと思いますか」という問いの項目のうち、「事業の成果やコストについて分かりやすく説明してくれる」「仕分けに市民が参加し、市民感覚をもとに議論が行われる」

「仕分け人と職員が、対話により事業課題を共有し、改善につなげるための方策を共に考える形態で行われる」の3項目については、「そう思う」の回答が多く、また、この3項目は本事業の目的や企画の根幹でもあります。これが実現できるよう「市民参加型事業評価」の実施に向けて準備を引き続き行ってまいります。